

# 環境活動レポート

【期間：2016年5月～2017年4月】



 株式会社 萩原工業

2017年 5月 12日発行



## 【目次】

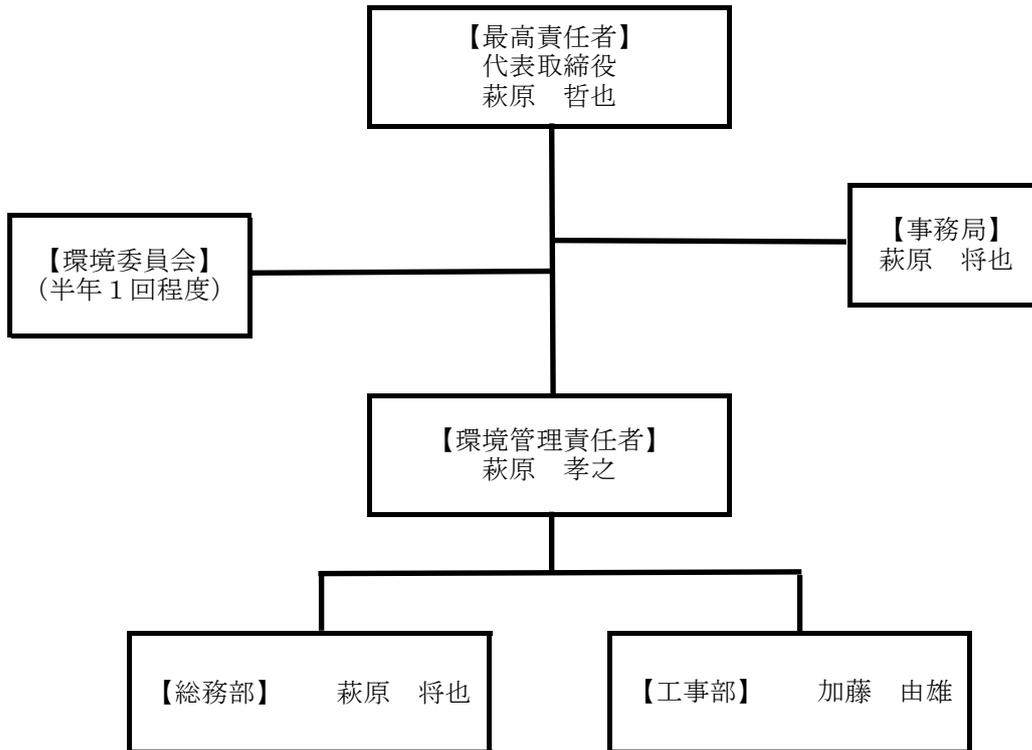
1. 事業概要
2. 環境管理実施体制
3. 環境方針
4. 環境目標
5. 環境活動計画書
6. 活動目標と実績
7. 活動結果の評価および次年度の取組み
8. 活動状況
9. 環境活動関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無
10. 内部監査内容の状況
11. 代表者による全体評価と見直し結果

# 1. 事業概要

事業所名	株式会社萩原工業
代表者	代表取締役社長 萩原 哲也
所在地	群馬県安中市松井田町土塩499
認証登録範囲	本社、資材置場
事業内容	総合建設業 建設業許可:群馬県知事(特-26) 第2328 一級建築士事務所:群馬県知事登録 第3540号 宅地建物取引業:群馬県知事(8) 第2980号 産業廃棄物収集運搬業許可証 01000032331
事業規模	従業員 19名 床面積 2,530㎡(2015年5月1日現在)
環境管理責任者	取締役専務 萩原 孝之
連絡先	TEL:027-393-1480(代表) FAX:027-393-1414 URL: <a href="http://hagimoku.co.jp/">http://hagimoku.co.jp/</a>

## 2. 管理体制

(2016年5月1日作成)



職名	役割
最高責任者	<p>【代表取締役 萩原 哲也】</p> <p>①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する</p> <p>②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する</p> <p>③環境方針を制定する</p> <p>④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する</p>
環境管理責任者	<p>【萩原 孝之】</p> <p>①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する</p> <p>②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する</p>
事務局	<p>【萩原 将也】</p> <p>①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する</p>
環境委員会	<p>最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる</p>

## 3. 環境方針

### 〔基本理念〕

私たちは、かけがえのない地球を守ることが、人類共通の最重要課題のひとつと認識し、地域環境に配慮した事業活動に努めます。

### 〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 当社の主力事業である、土木・建築設計施工までの各領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。
  - ①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の単純焼却の削減に努めます。
  - ②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。
  - ③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。
2. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
4. 環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。
5. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

制定日 2012年 8月 23日  
改定日 2014年 4月 1日

株式会社 萩原 工業

代表取締役社長  
萩原 哲也

## 4. 環境目標

取組項目	単位	基準値	年度別環境目標			
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
①二酸化炭素排出量の削減	kg-co2/ 百万円	307.0	305.0	303.0	300.0	
1)電力使用量の削減	kwh/ 百万円	17.8	17.7	17.6	17.5	
2)ガソリン使用量の削減	L/ 百万円	40.0	40.0	39.9	39.8	
3)軽油使用量の削減	L/ 百万円	70.3	70.3	70.2	70.0	
4)灯油	L/ 百万円	10.7	10.6	10.5	10.4	
②廃棄物の排出量	t/ 百万円	6.9	6.8	6.7	6.6	
③ムダ抑制による節水活動	m <sup>3</sup> /人	4.51	4.50	4.49	4.48	
④グリーン購入の推進	-	G対象商品 3件追加	G対象商品 3件追加	G対象商品 3件追加	G対象商品 3件追加	
⑤化学物質取扱い及び管理の徹底	-	SDSの確認・保管	SDSの確認・保管	SDSの確認・保管	SDSの確認・保管	
⑥環境配慮型施工の推進	-	①表彰 ②安全パトロール実施 (月1回)	①表彰 ②安全パトロール実施(月1回)	①表彰 ②安全パトロール実施(月1回)	①表彰 ②安全パトロール実施(月1回)	

※①～② 売上高百万円当たり ③従業員一人当たり  
 ※平成27年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.522

## 5. 環境活動計画

項目	実施内容
二酸化炭素排出量の削減	①電力、燃料量の集計
	②照明・PC電源不要時のOFFの推進
	③エアコン清掃の実施
	④エコドライブ推進
	⑤社用車の点検・整備
	⑥日中事務フロアのブラインドによる遮熱性の向上
	⑦不要なOA機器の電源OFF（退社時、未使用時）等
廃棄物の削減	①分別ルールの徹底
	②廃棄物置場の整備
	③産廃業者との契約書の確認
	④裏紙使用ルールの徹底
水資源投入量の削減	①毎月のメータを確認する（漏水防止）
	②節水表示
	③トイレの節水
グリーン購入の推進	①購入品の調査
	②グリーン購入品の選定
	③グリーン購入品の決定
化学物質取扱及び管理の徹底	①取扱商品の把握
	②購入量の把握
	③取扱商品一覧表の作成
本業に関する目標	①工程・施工・品質
	②安全
	③地域貢献・創意工夫

## 6. 今期活動目標と実績

環境目標	単位	2016年度目標 (5月～4月)	2016年度実績 (5月～4月)	達成率
二酸化炭素総排出量	kg-co2	-	145,608.4	-
①二酸化炭素排出量	kg-co2/百万円	305.0	182.2	167.3%
1) 電力使用量	kwh/百万円	17.7	12.1	146.2%
2) ガソリン使用量	L/百万円	40.0	28.2	141.8%
3) 軽油使用量	L/百万円	70.3	25.4	276.7%
4) 灯油使用量	L/百万円	10.6	6.3	168.2%
②廃棄物排出量	t/百万円	6.8	6.70	102.3%
③水使用量	m <sup>3</sup> /人	4.50	4.70	95.7%
④グリーン購入の推進	-	G対象商品 3件追加	G対象商品 4件追加	達成
⑤化学物質取扱い及び管理の徹底	-	SDSの確認・保管	SDSの確認・保管	達成
⑥環境配慮型施工の推進	-	①土木工事表彰 ②安全パトロール 実施(月1回)	土木工事表彰 安全パトロール 実施	達成

## 7. 活動結果の評価および次年度の取組み

項目	実施内容	結果	評価	次年度
二酸化炭素排出量の削減	①電力、燃料量の集計	○	【定量】 ・二酸化炭素排出量 目標:305.0 (kg-co2/百万円) 結果:182.2(kg-co2/百万円) ・電気使用量 目標:17.7(kwh/百万円) 結果:12.1(kwh/百万円)  【定性】 達成 ①売上昨年比1.34倍にもかかわらず昨年と同程度のエネルギー量に抑えられた ②事務所LED化 月ベース46%減	活動の継続
	②照明・PC電源不要時のOFFの推進	○		
	③エアコン清掃の実施	○		
	④エコドライブ推進	○		
	⑤社用車の点検・整備	○		
	⑥日中事務フロアのブラインドによる遮熱性の向上	○		
	⑦不要なOA機器の電源OFF（退社時、未使用時）等	○		
廃棄物の削減	①分別ルールの徹底	○	【定量】 達成 -2.9%  【定性】 産廃業社との連携は良。 事業内容に左右されてしまう点があるので、左右されない社内の廃棄物の数値化を行うようにする	活動の継続
	②廃棄物置場の整備	○		
	③産廃業者との契約書の確認	○		
	④裏紙使用ルールの徹底	○		
水資源投入量の削減	①毎月のメータを確認する（漏水防止）	○	【定量】 未達成 4.3%  【定性】 水資源の意識づけが低下。マンネリ化しつつある。	活動の継続
	②節水表示	○		
	③トイレの節水	○		
グリーン購入の推進	①購入品の調査	○	【定量】 4件追加 【定性】 昨年度に引き続き対象商品の品目を増やすことができた。来期も、PDCAサイクルを回し今後に活かしていきたい。	活動の継続
	②グリーン購入品の選定	○		
	③グリーン購入品の決定	○		
化学物質取扱及び管理の徹底	①取扱商品の把握	○	SDSの確認・保管を行う	活動の継続
	②購入量の把握	○		
	③取扱商品一覧表の作成	○		
本業に関する目標	①工程・施工・品質	○	①群馬県所長賞 3件 群馬県部長賞 4件  ②安全パトロール 毎月 1回  ③職業体験	活動の継続
	②安全	○		
	③地域貢献・創意工夫	○		

## 8. 活動状況

【安全パトロール】



【コピー両面印刷】



【節水表示】



【安全訓練】



【社内LED化】



【表彰】



## 9.環境活動関連法規等の遵守状況の確認

### 1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	基準適合建設機械の使用	遵法
振動規制法	基準適合建設機械の使用	遵法
浄化槽法	保守点検実施・法廷検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準(契約書・許可証)マニフェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法

### 2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 10. 代表者による全体の評価と見直し結果

達成状況	10項目中9達成
運用結果	EA21導入当初よりも社員一人一人の環境に対する意識が向上し、弊社に環境経営の土台ができた。さらなる飛躍のため、今後も従業員に周知徹底と更なる環境負荷低減・配慮活動を推進する。一方、現在の活動内容では来期の目標が未達になる項目もみえてきている。活動の幅を広げ、目標達成の打ち手の検討を行うと尚良し。
次年度の取組み	次年度は、今までの取組を活かしてより精度の高い環境経営を行います。 そのためには、「取組の数値化」が非常に重要になります。未だ数値化できていない取組（コピー機の枚数がカウントされていないなど）を精査・改善し、より精度の高い情報を発信できるようにしていきましょう。